

2019年度年間文学講座

趣旨 山梨県ゆかりの文学や古典・近現代文学について、第一線で活躍する研究者や当館職員がわかりやすく解説します。

受講料 無料

定員 講座1,2 500名 講座3 150名（要申込 いずれも先着）

資料 全講座、当館でプリントを用意いたします。（お渡しは1人1回限り）

その他 できるだけ多くの回数の出席をお願いいたします。

本講座はキャンパスネットやまなし及びことぶき勸学院連携講座です。

申込 当館備え付けの申し込み用紙か、お電話にてお申し込みください。

問い合わせ先 山梨県立文学館 甲府市貢川1-5-35 TEL 055-235-8080

講座	講師	日程とテーマ		
講座1（全8回） 日本文学と富士山 —古典を中心に— 都留文科大学 教授5名による リレー講座 14:00-15:30 文学館講堂	鈴木武晴	1	5/10（金）	万葉集の山部赤人の富士の山を望（み）る歌
		2	6/7（金）	万葉集の高橋虫麻呂の富士の山を詠む歌
	長瀬由美	3	7/12（金）	平安時代の文学作品にみる富士山
	佐藤明浩	4	8/9（金）	富士山を詠む和歌 —平安時代—
		5	9/13（金）	富士山を詠む和歌 —中世—
	加藤敦子	6	10/4（金）	近世文学に見る富士山
		7	11/1（金）	富士山と江戸時代の旅
	寺門日出男	8	1/10（金）	中国の霊山
講座2（全8回） いま「文豪」の 作品を読みなおす —伝記と 代表作の関係— 14:00-15:30 文学館講堂	大木志門 山梨大学 大学院 総合研究部 教育学域 人間科学系 准教授	1	5/30（木）	太宰治「道化の華」 —「前衛」時代の太宰
		2	6/20（木）	田山花袋「蒲団」 —「私」を描くまでの苦闘
		3	7/18（木）	志賀直哉「城の崎にて」 —透明な文体の成立
		4	8/15（木）	徳田秋聲「あらくれ」 —野生の女性の一代記
		5	9/19（木）	林芙美子「放浪記」 —女性と労働と詩
		6	10/17（木）	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」 —児童文学か宗教文学か
		7	11/21（木）	芥川龍之介「歯車」 —遺作の中の幻想
		8	12/19（木）	谷崎潤一郎「春琴抄」 —フィクションと事実の間
講座3（全3回） 山梨の文学 14:00-15:10 文学館研修室	保坂雅子	1	6/2（日）	太宰治 —甲府での足跡をたどって
	高室有子	2	7/28（日）	山の描写いろいろ
	中野和子	3	9/28（土）	資料が語る宮沢賢治 —展示のみどころ

講師紹介

講座 1	鈴木武晴 すずきたけはる	都留文科大学 教授	筑波大学大学院研究科修了。専門は上代文学とその享受史。歌や俳句の実作も行う。著書に『テーマ別万葉集』（おうふう 2001年）、『窪田空穂と万葉集—亡き母挽歌と富士関係歌—』（新典社 2011年）、『甲斐 万葉の歌譜』（山梨日日新聞社 2012年）、歌集『歌葡萄』（短歌新聞社 1996年）など。
	長瀬由美 ながせ ゆみ	都留文科大学 教授	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）。専門は平安朝文学（平安朝漢詩文と『源氏物語』を中心とするかな作品）。著書に『源氏物語と平安朝漢文学』（勉誠出版 2019年 2月）。
	佐藤明浩 さとうあきひろ	都留文科大学 教授	大阪大学大学院博士課程中退。大阪大学助手、名城大学助教授などを経て、現職。専門は和歌文学・中世文学。論文に「「かげなびく」考—大臣在任を奏す歌ことば—」（『詞林』62号 2017年）、「『久安百首』部類本の編纂について」（伊井春樹編『日本古典文学研究の新展開』和泉書院 2011年）など。
	加藤敦子 かとうあつこ	都留文科大学 教授	東京大学大学院博士課程満期退学。日本近世文学専攻。歌舞伎・人形浄瑠璃を中心に江戸時代の文化と文学の相互関係を研究する。主要論文に「『釈迦如来誕生会』における槃特」（2017年）、「五代目市川団十郎「小倉百句」注釈」（2014～17年）、「未来記による虚構化—『傾城島原蛙合戦』の夢解き」（2012年）。
	寺門日出男 てらかどひでお	都留文科大学 教授	大阪大学大学院博士前期課程修了。大阪大学助手、都留文科大学講師、同助教授を経て現職。専門は中国儒教思想史および日本近世儒学史。著書に『史記十表上』、『史記十表下』。『韓非子 悪の論理』（共著）、『懷徳堂事典』（共著）など。
講座 2	大木志門 おおきしもん	山梨大学 准教授	立教大学大学院博士課程満期退学。博士（文学）。山梨大学教育学部准教授。専門は日本近現代文学。著書に『徳田秋聲の昭和—更新される「自然主義」』（2016年）、『谷崎と鏡花』（共編著 2017年）、『〈私〉から考える文学史—私小説という視座』（共編著 2018年）、『怪異を読む、書く』（共著 2018年）他。